

千葉県勝浦海域における植食性魚類駆除による藻場保全再生

勝浦市藻場保全対策協議会

(協議会構成メンバー：勝浦漁業協同組合、新勝浦市漁業協同組合、新勝浦市漁協浜行川藻場保全グループ、勝浦市、千葉県立中央博物館分館海の博物館、千葉県水産総合研究センター、千葉県勝浦水産事務所、東急不動産株式会社)

プロジェクト概要

- ・千葉県の外房ではブダイ等の植食性魚類の食害による磯焼けが東進しており、**勝浦海域はその最先端**です。
- ・勝浦に残る豊かな**カジメ藻場の減少**を食い止めるため、刺し網による**ブダイ等**の駆除に取り組んでいます。
- ・駆除実施海域において**駆除の効果が確認**され、藻場の減少を食い止めることができました。
- ・今後は駆除実施海域を増やすとともに、**新たな藻場造成**にも挑戦し、**より広い範囲のカジメ藻場を保全**していきます。



勝浦海域

プロジェクトの特徴・PR

- ・勝浦海域を代表する海中景観である**カジメを代表とする藻場**は、勝浦において活発に漁獲されている**サザエ・アワビの餌**になると同時に、他の水産資源が成長するための重要な場所であると考えられています。
- ・磯焼けの対策として新勝浦市漁協浜行川藻場保全グループが**先駆的に行ってきました**ブダイ等の駆除について、その効果を明確にするためにプロジェクトが立ち上りました。
- ・今回は新勝浦市漁業協同組合が管轄する**興津海域**にて、**東西100m×南北100m**の正方形の調査区域2か所(活動区と対照区)を設定しました。
- ・活動区では7月に2回駆除を行い、合計で**ブダイ等104匹**を漁獲しました。一方、対照区では駆除を行いませんでした。
- ・**空中ドローンでカジメの分布を、コドラート付き水中ドローンでカジメの密度**を測定し、撮影した**画像をAI判定**することで、活動区・対照区における藻場の変化を数値化しました。
- ・なお、駆除したブダイは全て東急不動産に販売され、食材として有効活用が進められました。その成果として、ブダイを用いたフィッシュバーガー「**勝浦ブルーバーガー**」を開発し、「東急リゾートタウン勝浦」内レストランで販売を開始しました。
- ・今後も駆除を拡大し、それにより得られたブダイ等を活用し、**藻場の保全を地域活性化**にもつなげていきます。



調査の様子（イメージ）



勝浦ブルーバーガー